

NPO法人 ベーシックライフインフォメーション協会 会報第9号

平成27年の活動報告

■文化講演会

「台湾の近代化に尽くした後藤新平と日本人技術者たち」

練馬区民の参加で盛り上がる

本年度第一回の講演会が九月十一日練馬区立生涯学習センターにおいて開かれた。講演は「台湾の近代化に尽くした後藤新平と日本人技術者たち」と題し土木学会社会インフラ解説グループ長

緒方英樹

氏による講演がパワー

ポイントを使って行われた。内容

の概要は本紙2ページ

以下に掲載してある。

当団は三十六名の参加者があり大

方は一般の区民であつた。



らおうとの思いを込めた催しだ。

語りの渡嘉敷政子さんは

沖縄の歴史を語りその間に

民謡と三線を

交えて説明し

た。琉球国から琉球王朝時代へ、苦難の薩摩藩の侵略を受けた時代を経て明治十二年沖縄県が誕生した。太平洋戦争を経て一時アメリカの統治のもとにおかれ日本復帰が実現したのは一九〇〇年で基地問題に揺れる沖縄について語った。



渡嘉敷政子さん

■代表處の林世英教育組長がお茶の水女子大附属高を訪問

台北駐日経済文化代表處教育組林世英組長は協会の橋渡しへお茶の水女子大学附属高校を十月十四日午後訪問した。かねて台北市立第一女子高級中学と交流協定を結んだ同校を訪ねたいとの希望を持っておられたので協会役員が案内し実現した。当団は村田容常校長、菊池美千世副校長が林組長に附属高校の教育活動を紹介した。組長は台湾の教育事情を説明した。両者親しく懇談した。

代表處教育組黃聖明主事、広報部西江智彦職員、

協会田代實範理事長、加藤美智子理事も同席した。その後、校庭の一隅のすでに植樹されている交流記念の桜

の隣にしだれ桜「結の桜」を組長、

校長、理事長の三人で鍵入れを行い植え込んだ。

**■「沖縄・久米島の地上戦体験」を聞き
「民謡と踊り」を楽しむ会**

本会は、「日本をもっと知りうる」のテーマに応える一つとしてこの集いを企画した。外国人の方のみならず日本人にも日本をもっと深く知つても

作った台湾名産のビーフンや漬物、おこわのおむすび沖縄の特産品などパックに詰めて提供し参加

者に喜ばれた。短時間であったが懇親の実が盛り上がった。

この催し物は十一月二十八日午後、練馬区生涯学習センターでおこなわれ、五十六人の参加でござわった。語りの詳細は本紙九ページに掲載しています。



「台湾の近代化に尽くした後藤新平と日本人技術者たち」

講師 緒方 英樹氏

サンテグジュペリの著書「星の王子様」に「大切なことは目に見えない」というようなことを述べていますが、大切なことが目に見えない、これは土木に当てはめると非常にわかりやすいです。安全安心を支えているのは何か、が土木です。安心安全は空気のように当たり前になっていますので何かがあって初めて気が付く。今朝も地震がありましたが、家屋が倒壊し洪水が起きて人命や財産を失うなどの自然災害は土木の仕事と関係が深い。洪水の被害は登呂遺跡の発掘で住居や田を守るために護岸工事が行われていた跡が見つかった。古代から人類が集団で生活すると必ず自分たちの生活を守る土木技術が必要であった。土木の技術は古代から中世へ戦国時代から江戸時代へ現代へと受け継がれてきている。人は朝起きて寝るまで日々と土木の恩恵に支えられ、土木の仕事は人が寂静まったく続ります。土木技術が支えている見えにくいものには、

山中から送電される携帯電話などあることに若者は気づかない。これらは昼夜を問わず技術者の手によって守られているわけです。

日本は地殻変動が多い。国土が狭隘で山脈が急峻であるため水の流れが速くていきなり平地に流れこむ。洪水や土砂災害は、そのような変化の激しい独特の風土に生きる日本人の宿命でもあります。それら自然災害に対応してきた土木の歴史があります。

私たちが安心できる暮らしをするのに土木の大切さを示す語源として「築土構木」(土を築いて屋根を作り、家をつくり周りを整える)があります。以来、私たちの暮らしと土木は密接な関係を持ち、古代から中世、近世、さらに日本が近代化を進めるにあたって、土木技術者たちは何を、どのように守ってきたのか。日本から台湾の土台づくりに尽くした人たちについて紹介します。

緒方英樹氏のプロフィール

「土木の絵本」全 5 卷シリーズの執筆、週刊文春コラム「立ち話」連載(2005~2009)。アニメ映画「パッテンライ」、「夢は世界をかけめぐる」の企画で、土木学会映画コンクール最優勝賞受賞。国づくりの歴史を若年層から大人までわかりやすく伝える活動をおこなっている。2011 年「土木広報論」で博士号取得。著書に「身近に楽しむ・学ぶ・語り継ぐふるさとの歴史資産」(オーム社)、「人物で知る日本の国土史」(オーム社)など。専門は広報論、土木史、コミュニケーション論。

註 この会報所収の冒頭の文は講師のお話を要約したもので写真とも講師の了解を得て掲載したものです。

1

9月12日
練馬区生涯学習センター

台湾インフラの礎を築いた日本人たち

日本統治時代50年、土木技術者たちの軌跡



3

師・広井勇の薰陶とは 人々の豊かさに貢献する、文明の基礎づくり

- 「もし工学が唯に人生を煩雜(はんざつ)にするのみのものならば、何の意味もない。工学によって数日を要するところを数時間の距離に短縮し、一日の労役を一時間にとどめ、人をして静かに人生を思惟(しい)せしめ、反省せしめ、神に帰るの余裕を与えないものであるならば、われらの工学はまったく意味を見出すことはできない」

土木による人民救済こそ信仰

2

師・広井勇の薰陶を受けて、 海外へ羽ばたいた代表的土木技術者たち

明治時代に日本の近代土木を確立したパイオニアの一人、広井勇は、「民衆の幸せのための土木」を標榜して多くの教え子たちを育てた。そのなかに、師・広井の薰陶を受け、夢をいだいて海をわたった三人の土木技術者、青山士・八田與一・久保田豊がいた



東京帝国大学土木工学科で教えた20年間、広い山脈から海外に羽ばたいた代表的な人々



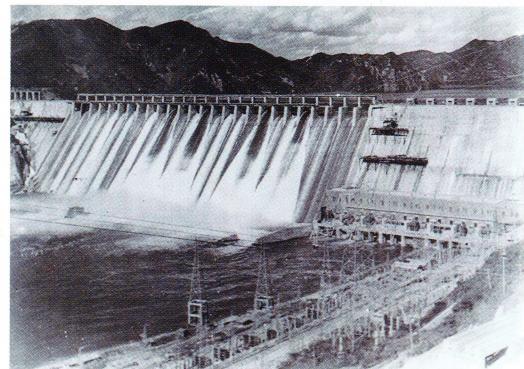
▼青山士(あきら)
1878~1963

■八田與一(よいち)
1886~1942

◆久保田豊(ひさかず)
1890~1986

4

北朝鮮には、日本人が戦前に残した重要な施設がある
竣工時、世界最大級とされた水豊ダムだ!!



5

朝鮮と満州の国境を画す国際河川鴨緑江に完成した**水豊ダム**
戦前の日本内地には存在しない大スケールのもので
日本とは比較できないほど安い電力供給を可能にした

- 朝鮮戦争中に雷撃を含む、アメリカ軍機の攻撃を受けたが、久保田によるダム構造設計が堅牢であったため決壊を免れた。
- 戦後に北朝鮮は発電能力を増強して復興した。竣工から60年以上経過した現在もダム本体は大きな改修工事が行われず現役であると思われ、現在も北朝鮮の重要なエネルギー源の一つである。なおダム湖は中朝国境となっており、北側は中国領である。

8

八田與一技師没後、命日である5月8日に毎年、台湾の烏山頭ダムのほとりでは、地域民による慰靈祭が行われています

その理由は??



6

日本が、民族・国境を超えて北朝鮮に残したプロジェクト×
久保田豊は、この事業を朝鮮の発展、生活向上に役立てようと願った

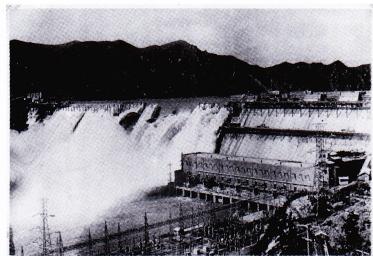
赴戦江、長津江、盧川江、各発電所の放流水は、工業用水のみならず、灌漑用水として水田が潤い、生産された化学肥料がその水田を肥沃な大地に蘇らせた

久保田豊が完成させた水力発電プロジェクトの総出力は200万キロワット

当時、世界最大規模と言わされた水豊ダムの建設

1937年着工
1944(S.19)年完成
重力コンクリートダム
高さ106m 延長900m

朝鮮と満州の境界につくられた70万キロワットという電力は、二つの国に半分ずつ送電され、多くの人々の暮らしを支えた



水豊ダム・建設工事

9

飲水思源という考え方



水を飲むときは、井戸を掘った人のことを思い
感謝の気持ちを子々孫々伝えよう

7

地図を読む名人



常に、そばに置いていた地球儀と五万分の一の地図
世界中に夢を描いていった

当時を知る関係者の声
「何しろ自然を読み取る天才でした。ふつうは平面にしか見えない地図でも、彼には立体に映っていたのでしょうか」



久保田豊という技術者が、国境を越えて地球上に広げた夢は、現在多くの人々の暮らしに役立っている

10

八田與一の業績とは何か

烏山頭ダムの規模

堰堤長・・・1273m
高さ・・・56m
底部幅・・・303m
頂部幅・・・9m
貯水量・1億5000万トン

嘉南大圳の規模

灌漑面積・・・15万ha
給水路.....10000km
排水路・・・6000km
水源・濁水溪5万2千ha
灌漑方式・三年輪作給水法

この数字が表す八田與一の業績とは?

「10年の歳月をかけて、洪水・干ばつ・塩害に喘いでいた嘉南平原15万haの荒れ地で苦しんでいた60万人の農民に対して、烏山頭と濁水溪のダムに貯水した水を、16000km（地球半周分の長さ）の給・排水路に引き、15万haの土地すべてに同時に給水することは物理的に不可能だったので、三年輪作給水法という灌漑方式で水を分配した、という概要である」

11

しかし、台湾のインフラ整備に尽力して、いまも地域の人々に感謝されているのは、八田技師だけではありません



広大な不毛の大地に水を引いて、地元民衆たちから神とまで崇められた八田興一技師の活躍は、台湾統治も終わりに近づいた大正時代のことでした

14

後藤新平の敷いたレールとは？

- 「自分は、後藤新平の敷いてくれたレールの上を歩いているのかもしれない」（八田與一談）

八田技師の長男・晃夫氏から聞いた言葉です。

- 台湾総督府民政長官として赴任した後藤新平は、台湾の人々の暮らしを豊かにするための産業興しと同時に、インフラ整備に総力を結集しました。そのために日本から最も優れた人材を呼び寄せました。
- そうした道筋の中で、道路、鉄道、河川、港湾、上下水道などの台湾の骨格となる社会基盤が營々と整えられていった
- しかし、道なき道は、馬も歩けないほどだった…

12

1898年（明治31年） 後藤新平、台湾総督府民生局長に

後藤新平と児玉源太郎による台湾の近代化政策

明治31年3月、内務省衛生局長だった後藤を第四代総督児玉源太郎が希望し、同時に赴任。当初民政局長として発令、三ヶ月後の6月に児玉総督を補佐する民政長官（新官制）として発令、民政全般を後藤に託す。1906年までの8年8ヶ月を台湾の土台づくりに邁進した



後藤新平による三大事業とは、
土地調査・台湾縦貫鉄道建設・基隆港築港

15

日本統治時代のなごり 台北市・幅員40mの道路

台北市内には高速、並木、一般車道と片道3線からなる幅40mの道路4本が建設された。その中心部には台湾総督府官邸（現在の總統府）や博物館など煉瓦造りのしっかりした近代的建築物がいくつも建てられ、この近代的景観はいまも窺える



台湾総督府（旧台湾総督府）



台湾総督府前の、片道3車線、幅員40mの道路

13

後藤新平の敷いた近代化政策



- ・総延長 405 km の本格的台湾縦貫鉄道 長谷川謹介
- ・西郷菊次郎による宜蘭河治水工事
- ・川上浩二郎技師による基隆港の建設
- ・台湾の公衆衛生向上に尽力したバルトンと浜野弥四郎
- ・導水路「倒虹吸管」を設計した八田技師の後輩・磯田謙雄
- ・自然環境に配慮した地下ダム「二峰圳」は、八田技師の先輩・鳥居信平の偉業
- ・日月潭発電事業に貢献した人たち

16

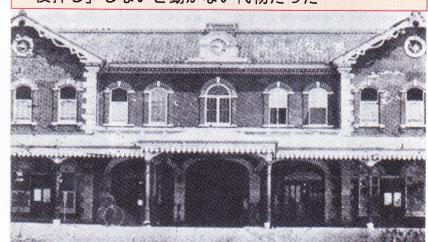
近代化への基盤づくり

～基隆から高雄まで、台湾縦貫鉄道405キロへの挑戦～

日本から投入されたのは
日本鉄道界のトップ・長谷川謹介と工技生養成所出身のエリートたちだった

エドモンド・モレル
井上勝
日本人鉄道技術者
養成の学校
「工技生養成所」

京都と大津を結ぶ
鉄道建設
日本最初のトンネ
ル工事である逢坂
山トンネル
(664.8m)の完成
↓
10年余りの歳月を
かけて全線開通



井上勝が大阪停車場につくった工技生養成所

17



台湾鉄道の父と言われる長谷川謹介とは

・安政2年(1855)山口県生まれ。
・明治4年17歳の時に大阪英語学校に学び、明治7年英国人鉄道技師の通訳、測量手伝い等に従事。
・明治11年京都→大津間建設に際し深草→逢坂山間の工事を担任。
・明治13年4月長浜→敦賀間の敦賀線工事で柳ヶ瀬トンネルを担任。
・18年には揖斐川および長良川の両鉄橋を架設し、明治20年6月東海道線天童川橋梁を完成させる。明治25年常磐線の建設工事を担当。明治30年郡山→若松間の工事を担当。
明治32年4月台湾総督府鉄道部技師長に任命され、台湾縦貫鉄道の建設工事を担当し、惡疫その他多くの困難と戦いながら明治41年これを完成させた。長谷川は鉄道院副総裁など歴任して生涯を鉄道に捧げた

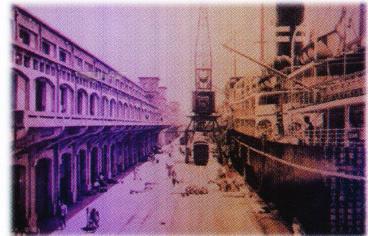
20

海に囲まれた台湾の発展にとって港湾整備事業は重要なポイントだった

台湾縦貫鉄道建設の資材運搬にとっても基隆、高雄の港を早急に近代化する必要がある

港に船が入れない。沖に停泊した汽船は、小舟で人や荷物を運ぶしかなかった。その状況は、ちょうど日本が明治の近代化を成し遂げる前、江戸時代に似ていた

だが、台湾の地形や気候、風土は日本と似て非なるものだ。島の中央を高い山脈が南北に連なり、そこを水源とする河川は一気に海へ流れ、大雨が降ると大量の土砂とともに洪水を引き起こす。その中で、基隆港は日本との定期航路を有する北の門戸となっていたが、その実情は、水深の浅い港内に入れないので



18

長谷川謹介は、縦貫鉄道建設にあたり、日本から呼び寄せた24名の卓越した技術者集団を抱えていた



工技生養成所出身、日本人だけの手で、1880(明治13)年に完成した逢坂山トンネル(交通博物館所蔵)

当時の台湾鉄道幹部

鉄道部は、総務、工務、汽車、運輸、経理の5課からなり、長谷川が工務、汽車、運輸を兼務した縦貫鉄道建設で長谷川が選抜した技術者集団には、工技生養成所や東京帝国大学、京都帝国大学出身者などのほか、工手学校(1887創立、現在の工学院大学)など民間の工業学校出身の優秀な技術者もいた。

明治政府は、開府当初、日本初の鉄道を走らせるためイギリスからお雇い外国人エドモンド・モレルを招いた。日本人技術者の自立というモレルの遺志を継いで、初代鉄道頭の井上勝は明治10年、大阪停車場の2階に「工技生養成所」という日本人鉄道技術者養成の学校を創った

21

川上浩二郎技師による基隆港の建設

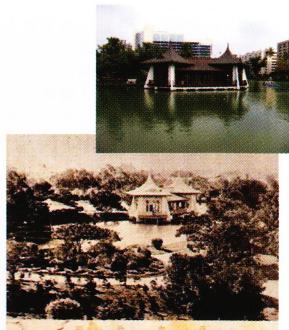


台湾縦貫鉄道建設の資材運搬にとっても基隆、高雄の港を早急に近代化する必要がある。第4代総督、児玉源太郎はそう考えた。児玉総督は、基隆築港局長に民政長官の後藤新平を兼任させ、基隆築港に投入されたのが川上浩二郎をはじめとするスペシャリストたちであった

東京帝大土木工学科を卒業して台湾総督府に赴いた川上浩二郎は、明治32年、基隆築港第1期工事にたずさわる。波浪から港を守る防波堤工事と港内の水深を整える浚渫(しゅんせつ)工事は、明治35年まで4年間で完成する

19

台湾総督府は1908年10月24日、台中公園にて「縦貫鉄道全通式」を挙行

台湾総督府鉄道部(台北市)
日本統治時代には鉄道部の建物として改築され「台湾総督府交通局鉄道部」と称されていた

「鉄道縦貫線全通式」のために建設された「池亭」(現・湖心亭)

22

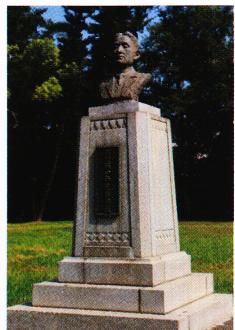
風土病の蔓延する台湾で衛生問題の解決、そのための上下水道建設も急がれた

「都市計画の根本は上下水道の改良にある」
後藤新平に請われた台湾総督府衛生土木監督 ウィリアム・K・バルトンの信条

バルトンの計画を教え子、浜野弥四郎が引き継ぎ、淡水や基隆、台北の水道建設に奔走
23年かけて、台湾における大小133ヶ所の上下水道が整い、台北は東京よりも早く完成了しました

台湾の衛生環境は大きく改善され、近代的な都市基盤と暮らしに貢献

浜野が計画・設計・施工した台南水道は、当時の最新技術である急速濾過法を取り入れた大規模な浄水場。この台南上下水道工事には、後に烏山頭ダムをつくった八田與一も浜野の部下として関わった。八田は、浜野の銅像建設を提起

浜野弥四郎銅像
台南水道(台南県山上郷)

23

上下水道編

台湾の公衆衛生向上に尽力した英国人技師バルトン・師・バルトンの遺志を継いだ浜野弥四郎の水道建設



「都市計画の根本は上下水道の改良にある。」後藤新平に請われた衛生土木監督ウイリアム・K・バルトンの信条だった。

バルトンはまず、辺鄙な山野での現地調査をはじめたが熱帯密林の歩行さえ困難をきわめた。同行してきた教え子の浜野弥四郎も助け、淡水や基隆、台北の水道建設に奔走した。しかし、台湾に渡って3年目の明治32年(1899)、バルトンは伝染病に罹って倒れる。

浜野は師の偉業を23年かけて達成。その後、台湾における大小133カ所の上下水道が整い、台北は東京よりも早く完成した

26

白冷圳の導水路「倒虹吸管」を設計したのは八田技師の後輩・磯田謙雄

磯田謙雄は、八田與一技師と同じ金沢(現・尾山町)出身で7歳年下、旧制金沢一中、旧制四高、東京帝国大学工科大学土木工学科から台灣總督府、まさに八田與一と同じ道を歩み、現在も台中市で機能する農業用水路「白冷圳」を設計

・その技術的特徴は、白冷台地と新社台地の高低差を利用して水を揚げる逆サイホン方式

・白冷圳とは、導水路の全長17キロ弱、22カ所のトンネル、14カ所の橋で渓谷を空中でつなぐ水路(水管)

・その技術は、そのおよそ300年前、江戸の技術者・板屋兵四郎が兼六園から金沢城まで、約3.3kmのトンネルに水管を通して導水した辰巳用水の逆サイホン方式があった!



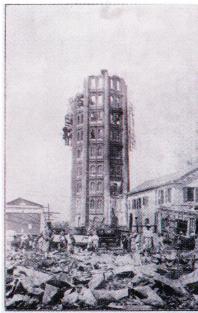
新設された左の水管(水色)と、右は磯田技師設計の逆サイホン水管(緑色)

24

衛生工学の専門家は、高層建築設計にも手腕を発揮



バルトン設計による日本で初めての高層ビル「凌雲閣」
バルトンは水道のみならず港湾などの工学にも深く通じ、写真も玄人はだし、濃尾大震災の現地に飛んで記録写真集を出版



大正12年の関東大震災でぱつきり折れた12階建ての凌雲閣

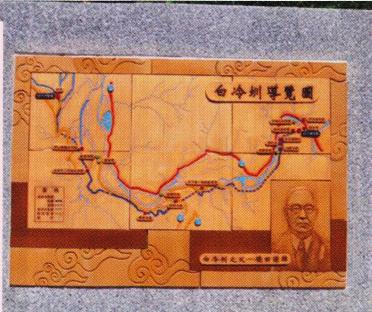
27

大正7年(1918)、台湾總督府に赴任した磯田謙雄を「丁度今は家内が内地に行つて僕一人だから…」と言って自宅の離れに住まわせてくれたのが、磯田の先輩・八田與一だった

磯田の回想記(「台湾の水利」第20巻・昭和17年)から判明!

白冷圳は、1932年に完成、通水が始まった毎年10月14日通水記念式が地元住民により催され、2012年には通水されて80周年を迎えた

白冷圳の公園入り口には、巨大水管を背に、磯田技師の彫像と功績を刻んだパネルがある。2012年に設置したのは台中市と台中農田水利会で、中國語と日本語のパネルで観光客や見学者に伝えたいとしている



25

バルトンの死から23年間、浜野は、淡水から基隆、台北、台中、台南など主要都市の上下水道を建設していく。特に、浜野が計画・設計・施工した台南水道は、当時の最新技術急速濾過法を取り入れた大規模な浄水場だ



雨水下水道を浄水場までつなげることで排水抜きになっていた雨水を資源として利用



当時の最新技術である急速濾過法を採用した台南水道浄水室

現山上浄水場

28

自然環境に配慮した地下ダム「二峰圳」は、八田技師の先輩・鳥居信平の偉業

- ・自然にやさしい地下ダムって、何?
- ・八田與一の先輩とは?
- ・忠犬ハチ公の飼い主・上野英三郎と鳥居信平との関係は?
- ・新渡戸稟造の「糖業改良意見書」に基づいて進められた台湾製糖業にとって、どんな意味が?



二峰圳 入り口



現在も地下ダムの水で潤うう

29

自然環境への配慮は、元々その地に住み着いていた原住民・高砂族の暮らしを損なわないことへの誠意でもあった原住民の若者たちも工事に従事して約2年、地下ダム「二峰圳」は1923年に完成した

水源、土壤など2年がかりの山地調査で鳥居が着眼したのは、屏東平野の海拔15m地点で流れ出る湧き水だった。その地下を流れる清廉な伏流水を水源とする計画だ。川の干上がる乾期に川床を掘り起こして堰をつくり、堰き止めた伏流水を幹線水路3436mで導いた



二峰圳 入り口



水で潤う来義村

32

台灣電力 日月潭水力発電所

1934年竣工、濁水溪で初めてつくられた発電所

明石元二郎の命により、

松木幹一郎、山形要介、国弘長重、堀見末子らが関わった



上池と下池の高低差310m

30

鳥居はダム完成後、新農地に移住してきた農民に不公平な格差が起きないように、2年から3年の輪作給水法を取り入れていたのだ。鳥居が台湾製糖を退職するまでの25年間で3万ha以上の農地を開拓、乾期にサトウキビ、雨期に米や芋など農作物の収穫が格段に増えた。八田與一は、その鳥居が採り入れた輪作法を研究して、嘉南平原の灌漑事業に展開したと見られる



鳥居信平の胸像が2009年、台湾の実業家により、鳥居の生まれた静岡県袋井市に寄贈され、「月見の里学遊館」玄関口に建つ



鳥居信平の恩師は、農業土木の創始者・上野英三郎である。上野が農業土木の祖であることや、東京・渋谷駅前の像「忠犬ハチ公」の飼い主であることは、あまり知られていない。上野は、東京帝國大学農学部に農業土木専修を創り、農業土木という学問の基礎を築いた

33

西郷隆盛の子・菊次郎と、台湾・宜蘭はどんな関係が？

3884mの雪山山脈のトンネルを抜けると
そこは稻田の広がる宜蘭
いつも賑わう夜市と、随所に残る日本家屋が



31

新社～水里溪～紹興酒で有名な埔里に寄って
夕刻、日月潭へ入る



4つの
W(water,weather,woman,win
e)で知られる埔里は葡萄の産
地



玄奘寺から撮影
玄奘大師(三藏法師)の靈骨が祀られている玄奘
寺は、日月潭の湖畔南部の高台の上に建っている

34

明治30年、宜蘭府長となった菊次郎は、
総延長3470mの堤防工事に尽くした
地域の人が宜蘭河に建立した「西郷府憲德政碑」

・菊次郎が、今も台湾の宜蘭で慕われるの
は、なぜ？

・ところで、西郷菊次郎って、どんな人？



35

工学系若手博士4氏案内による
台湾大学訪問

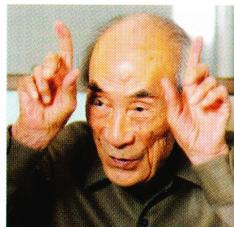


井手薰設計により、1928年に建てられた台湾大学
日本統治時代の正門を入って右手が理系、左手に文系の校舎が並ぶ
ここは、一般市民も自由に参観できる開かれた大学だ！
構内には、203本の椰子の木が、涼やかな景観をかもしだしている



38

詩人
まど・みちおさん



1909年(明治42年) - 2014年(平成26年)2月28日104歳で死去
代表作に「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」「一ねんせいになつたら」など

やさしく深い言葉で命の貴さをうたいあげた詩人のまど・みちお(本名石田道雄さん)
実は、

1919年から日本統治下の台湾で暮らし、29年に台北工業学校土木科を卒業して台湾総督府道路港湾課に勤めていた。

1943年、召集を受け帝国陸軍の船舶工兵として在台湾の部隊に入営。マニラを皮切りに各地を転戦し、シンガポールで終戦を迎えた

36

台湾大学敷地内にある旧高等農林学校作業室
そこは、磯永吉が研究していた場所
(台北市指定古蹟)



39

あさがくると
まど みちお

朝がくると とび起きて
ぼくが作ったものでもない
水道で 顔をあらうと
ぼくが作ったものでもない
洋服を きて
ぼくが作ったものでもない
ごはんを むしやむしやたべる
それから ぼくが作ったものでもない
本やノートを
ぼくが作ったものでもない
ランドセルに つめて
せなかに しょって

37

前身は台湾総督府が設立した民政学部工業講習所であり、100年近くの歴史がある
国立台北科技大学との交流会



40

さて ぼくが作ったものでもない
靴を はくと
たったか たったか でかけていく
ぼくが作ったものでもない
道路を

ぼくが作ったものでもない
学校へと
ああ なんのために

いまに おとなになつたら
ぼくだって ぼくだって
なにかを 作ることが
できるようになるために

沖縄の地上戦」と離島「久米島の体験」から

語り 渡嘉敷 政子

昭和二十年（一九四五年）第二次世界大戦で日本は負けた。私はその時 6 歳であった。今でも沖縄・久米島の日本軍がアメリカに降伏した日のことを鮮明に覚えている。

■太平洋戦争とは何か。

太平洋戦争は（一九四一年）米国の戦艦がハワイの真珠湾に停泊していたところ、日本軍の戦闘機が奇襲したことがきっかけとなって連合軍（アメリカ・イギリス・中国・ソ連）と日本軍が戦争をしたのを言つ。この戦争は沖縄では空爆と地上戦を、日本本土においては空襲と広島・長崎に原子爆弾を投下し多くの国民の尊い命と財産を次々と破滅させた戦争である。

■沖縄の歴史

沖縄は日本の本土と離れていて独自の歴史があります。それを振り返ってみましょう。次の年表をご覧願います。

沖縄県が設置されたのは明治十二年でそれ以前は琉球王朝時代でした。その間、豪族按司達（今帰仁・浦添・大里城）が割拠していました。琉球王朝は三十六代六十九年間続きました。その後二十代目の王の尚真王の時代になって刀狩りを行い武器なき国を作ったのです。首里王府を中心に諸外国、過疎が進んでいたのに今は人が大勢いま

特に中国との交易を盛んに行いました。

た音楽・歌・三線の普及に努め、組踊・古典音楽が世界無形文化財として今日まで継承されています。この時代王が音楽を振興し、「一人一芸」を奨励しました。また祭祀により人心の和づくりを図り、琉球王朝は尚真王時代に黄金時代を迎え、政治・経済・文化が栄え今の沖縄の基礎を作りました。

しかしこの後暗黒時代を迎えます。

一六〇九年薩摩藩が琉球を侵攻したので

す。中国との交易を強いて収奪しました。また重税を課した為に住民は激貧に陥りました。一八七九年明治政府は強制的に首里城を明け渡しさせ琉球藩を廃して沖縄県になりました。

一九四五年連合軍の空襲と地上戦で

一四万の命と文化財を失い、敗戦によって終結しました。昭和二六年サンフランシスコ講和条約により沖縄県は米国の統治下におかれ、二十七年間続きました。日本に復帰したのは一九七一年であります。

今問題になっている辺野古や子供のいり

基地は全国の七十四%が沖縄にあるのです。

今問題になっている辺野古や子供のいり

基地がきれいであったといふがどんどん埋立

てられ、新都心になってしまいます。離島は年々

す。その新都心に住んでいる方は本土の方が多いそうです。沖縄の人は仕事が無く、るのは戦争体験のある高齢者で若い人たちローンを組めないため、経済的に安定した方々が買つて住んでいます。

大田正秀前県知事も、「現状を憂いでいることが多いです。沖縄の人は仕事が無く、るのは戦争体験のある高齢者で若い人たちは戦争には関心がない」と嘆いていました。

◆沖縄の歴史◆

沖縄の歌と踊りはその歴史の中で育まれてきた。

六 太平洋戦争
空爆・艦砲射撃・地上戦・集団自決多発
一二四万人の犠牲者
「屋嘉節」歌「平和の壁」と
「さとうきび畑」の説明

一 琉球国 自給自足

二 按司時代
按司同士の領地争い

三 山統一（尚田志）

四 薩摩藩侵攻

尚寧王を拘束し江戸のぼりの義務化
中国との交易（冊封使、身隠し）
擬十五ヶ条を新設し重税を課す。
人頭税石の設置（宮古八重山）
「西武門節」の説明「花風」踊り
歌や三線踊りの禁止

五 沖縄県
琉球処分（警察官による強制撤廻）
産業開発の推進、方言礼
「汗水節」「テンサー節」の説明

六 日本復帰

琉球政府・高等弁務官の一重政府
生活や教育すべてゼロからのスタート
沖縄円からドルへ・スポーツで混乱
久米島の日本軍による住民虐殺
街・重要文化財すべて焼き尽くされる
二十七年間支配

七 アメリカ領

琉球政府・高等弁務官の一重政府
生活や教育すべてゼロからのスタート
沖縄円からドルへ・スポーツで混乱
久米島の日本軍による住民虐殺
街・重要文化財すべて焼き尽くされる
二十七年間支配

八 日本復帰

「基地全国の七十四%」沖縄に設置
地位協定（米軍の少女暴行事件や事故多発）
「ハイサイおじさん」（合団工）の皆さん
の演奏

ドルから日本円へ・世界の街並み化
米軍撤退で失業者続出・会社倒産続出

普天間基地を辺野古に移転
国の強制執行

お金で解決できるものではない。
沖縄の歴史を振り返り、沖縄の「民の心」を理解して欲しい。

■沖縄戦について

沖縄戦のことは語り尽くせない。」」」で
総べてを語ることは不可能である。またそ
れぞの島で様々な苦しみがあった。私は
自分が見聞きしたことをお話しします。

米軍は最新兵器（大型戦闘機・大型船艦）
と多数の兵士を投入し、沖縄の離島から攻
撃し始めた。北・南大東島を空爆した後慶
良間島に上陸し壮絶な戦を展開した。行き
場を失なった住民は恐怖と飢えで大多数の
人々が集まり集団自決している。子供の首
を切り住民は互いに差し違え自決した。こ
のように現地住民を巻き込み海上と地上戦
で島々を制圧しつつ沖縄本島へと北上して
行つた。

日本軍は米軍に対抗するため、日本本土
の陸・海・空軍を沖縄に集結させ、現地住
民や大学生や中高生・女学生を急遽招集し

められた。この写真は当時の現地の模様を
映したものです。（写真 展示）多くの人々
がこの地、摩文仁ヶ丘で亡くなりました。
捕虜となつた人々は鉄条網に囲まれた中
に収容されました。これらの人々の中から
缶カラを利用して作った三線で気持ちを癒
やし、涙を流しながら唄つたそうです。戦
後初の歌「屋嘉節」が誕生した。どうぞ演
奏をお聞きください。次いで一曲を演奏し
ます。

■「平和の礎」の歌

摩文仁ヶ丘に平和の礎があります。戦没
者の御靈を祀ると共に世界中の人に平和の
風を送り届けるために建立された碑です。

二番の歌詞の歌意を紹介します。
子供たちの手をしっかりと握り、先祖の位
牌を懐に入れ、朝夕洞穴で暮らした事を私
は今も忘れない。

忘れてなるものか。嗚呼、平和の礎よ。
今の平和をかみしめ、戦争は絶対にして
はいけない！

地上戦に突入した。空爆と艦砲射撃で多数
の軍人や住民が犠牲になり、文化財は滅失
した。圧倒的な米軍の新型兵器と日本の旧
型兵器の差は歴然で、食糧不足も深刻で
あった。これでは勝つはずがない。

住民は追い詰められ摩文仁ヶ丘に追いつ
められた。この写真は当時の現地の模様を
映したものです。（写真 展示）多くの人々
がこの地、摩文仁ヶ丘で亡くなりました。

捕虜となつた人々は鉄条網に囲まれた中
に収容されました。これらの人々の中から
缶カラを利用して作った三線で気持ちを癒
やし、涙を流しながら唄つたそうです。戦
後初の歌「屋嘉節」が誕生した。どうぞ演
奏をお聞きください。次いで一曲を演奏し
ます。

終戦を目前に控えた六月下旬、米軍は日
本軍と通信施設を狙つて久米島出身の通訳
男性仲村渠明男を案内役として島に接岸し
た。海軍守備隊約三十人余りの兵隊が陣地
を構えていたからである。

米軍は空爆をした後、島に上陸し島中を
くまなく偵察して巡つた。私はその時木の
間から初めて兵隊を見た。真っ黒な体に
真っ赤な顔をした米兵が銃を向けキヨロ
キヨロしている。怖くなつてわたし達家族
は松林の中を砲弾の炸裂する間をぐぢつて
逃げた。その時の傷跡は今も残つている。
上陸兵は日本兵が山頂近くに陣地を構え、
住民になりすましていたため見付けること
が出来なかつた。米軍は郵便局員の安里正
勇に命じて隊長宛ての降伏勧告文を配達さ
せた。これを受け取つた日本軍の隊長鹿山
軍曹はその場で郵便配達員を銃殺し山中に
埋めさせた。このことを聞いた男性の妻は
入水自殺している。

米兵が停泊していた近くの住民数人を連
れ出し島の状況を聞いた。そのことを伝え
聞いた日本兵はその人たちを「スパイだ」
として一か所に集め針金で手足を縛り区長
をはじめ比嘉隼一家五人を含む九人を焼死
させた。

さとうきびの羽音は ザわわ・ザわわ・ザ
わわ と、当時の人々を慰め安らかに眠る
子守唄のように海風に乗せてそよぐでござ
る。日本兵が家に乗り込んだとき、谷川
登は一男を連れて逃げ出した。妻は赤ん坊
を背負つて逃げたが妻は後ろから切りつけ
られて即死し、赤ん坊は地面に落ちて泣き
叫んだ。その子を日本刀で刺し殺した。そ
して谷川家へ戻り長女と次女を縄で縛り殺
した。その後谷川と一男を見つけ出し首に
縄を巻きつけ三〇〇メートル引きずつて殺
し、崖の上から突き落とした。次男は生き
たまま父の死体の上に落した。「おとうさ
ん！」と泣き叫んでいる上から日本刀で突
き刺している。谷川一家七人の死体の始末
を島民に命じた。今住民の手によって碑が
建てられている。

住民を守るはずの日本兵が次々とスパイ
と称し虐殺を行いその行為を自撃した住民
は恐怖感で震え上がつた。

空からは米軍の空爆、陸上からは米軍兵
士の銃口を、さらに山中からは日本兵の銃
口を突き付けられ「生き地獄」の有様になつた。
三重の恐怖の中で村の人々は洞穴から洞
穴へとさまよい続け、恐怖感と絶望感で部
落の人々は暗黙のうちに自決することを決め、
太田部落の前の池の周りに集まつた。米兵
に殺されるのであれば池に飛び込む。決
心したちようどその時、島の案内役をした
仲村渠明勇が駆けつけた。その時の状況を
直接体験した渡嘉敷（夫）がここにいます
のでお話しでもうります。

■「ヤシツキギシ」の歌

大戦末期の摩文仁ヶ丘は人々の泣き声と
叫び声、断末摩の叫びが今も木靈となつて
います。

聞いた日本兵はその人たちを「スパイだ」
として一か所に集め針金で手足を縛り区長
をはじめ比嘉隼一家五人を含む九人を焼死
させた。

■渡嘉敷一郎の話

仲村渠明勇さんに「戦争は終わったよ、死ぬことはないよ」と諭された。私は「そうかな、そうかな、やつぱり戦争は終わつたのか」と皆抱きあつて泣きその男性に感謝し全員帰宅した。私は生きながらえて今七十七歳です。あの時彼がいなければ私は今いじにいません。

それから幾日過ぎただろうか、日本兵はその男性家族を探しまわり東海岸近くに家族と隠れていたところを発見されて、アダンの防風林のところで刺殺された。明勇一家三人は小屋に入れられ、火をつけて焼かれた。恐ろしくて住民は遺骨を拾つことができなかつた。家族三人虐殺されたとの知らせを聞いた住民は集団自決を阻止してくれた男性の死を嘆き、恐怖と憤りは計り知れないものがあつた。戦争は終結したのに日本軍は脅え虐殺行為を次々と行つたのである。

数日後、日本兵は住民に紛れ隠れていたところを米兵に見つかり捕虜として送還された。その後、隊長は山口県の組合の理事長になり平穀に暮らしている。

その後二十五年が経ち山口県テレビと沖縄県テレビの協力により隊長と遺族の対話の場が設けられテレビ中継がありました。その中で隊長曰く「あれは戦争中のことで仕方がなかつた」と。

最後の最後まで「反省の言葉は聞けず遺族の怒りは募るばかり……」。

■戦争が終つて

私は離島・久米島において戦争を体験した。

戦後、恐怖と孤独感で心を病むものや前途に失望し自殺するものなど。戦争がもたらした悲劇は筆舌に尽くしがたい。広島や長崎への原子爆弾投下は世界中の人々から非難を浴びた。何の為の戦いだったのか、そして何の為の苦しみや悲しみだったのか? 現地住民はおおぞましい体験をこれから育ちゆく子供たちにどう伝えてゆくのか、月日とともに過去の出来事には触れないようにし、悲しすぎて苦しすぎて言葉にならないのが戦争から生き残った人々の心境だとと思つ。

沖縄本島の大空襲や陸上戦・慶良間や渡嘉敷島、その他各地での集団自決や本島南部においての壕内での自決、また久米島の日本軍による虐殺事件等、体験者のつらい思いは尽きることなく心の奥底に秘めたまま、現在を生きていね。

もっととも多くの犠牲者が眠る摩文仁ヶ丘に戦没者全員の名前を刻銘した「平和の礎」と「平和の灯」が建立された。岸壁に立つ刻銘碑から今日も死者の「平和の声」として世界へ向け平和の風を送り続けているだろ。碑の前に立ち太平洋上の海風と共に戦没者の崇高な声「絶対に戦争をしてはいけないーこの姿を見よー」と、平和の祈りが聞こえてくるのは私だけでしょつか。

註 この文は渡嘉敷さんのお話をもとに「自身で加筆、訂正されたものです。ご本人の了解を得て掲載しました。

第二部 沖縄の歴史の中で育まれた民謡と踊りの部

演じられた内容を紹介します。（演者の敬称は省略）

●踊り

「かぎやで風節」 踊り 渡嘉敷政子
祝儀の時一番に歌い踊る高貴で優雅な琉球古典音楽の最高峰です。

「花風」（はなふう） 踊り 新城八重子
「四ツ竹」 踊り 新城八重子
「貴花」（ぬちはな）
「踊り」 下田末子・酒巻洋子・上田怜子
「南嶽節」（なんだけぶし）
「踊り」 酒巻洋子・下田末子・上野怜子



●演目

伴奏は左記の合図（あいよんじ）クリプトの皆さん
白瀬篤・中出弘子・高橋美子・斎藤由紀恵
須森幸恵・須森美奈

●演目
「花」「芭蕉布」「安里屋ゆんた」
「七月エイサー・九高マンジュウ王」「カチャシー」
と続き参加者は三線に乗つて歌いだし合唱を楽しんだ。「カチャシー」踊りは舞台の上ばかりではなく座敷に下り、参加者は見様見真似で輪になつて踊り、華やかな雰囲気になつて盛り上がつた。

（第二部の文責発行人）

「四ツ竹」



「花風」



「貴花」・「南嶽節」



「カチャーシー」踊り



「ハイサイおじさん」他



「安里屋ゆんた」

台灣人戰没者慰靈碑



十一月三日恒例の台湾人戦没者慰靈碑を訪ね鎮魂を念じた。奥多摩町峰谷橋から急坂を歩いて去年より遅い三十分かけてようやく慰靈碑に到着、清掃の後生花を供えそれぞれお参りを済ませた。終わって初めての試みとしてさらに林道を登り峠を超えて峰谷の集落迄一時間四十分の山歩きを楽しんだ。当日は快晴に恵まれ静寂な林間をおいしい空気を吸つての好日であった。

台湾人戦没者慰靈碑前で鎮魂を念じたのち ハイキングを実施

- 四月二十四日 ※台湾 国立台北科技大学
学國際ホール
- 七月二十四日 ※東京 KMG 建築事務所
- 九月十六日 ※東京 文化学園大学教室
- 九月十七日 ※東京 台北駐日経済文化
代表處台湾文化センター
- 十月二十八日 ※台湾 玉蘭莊
- 十一月十一日 ※台湾 国際日語教会
- 十二月十五日 東京 お茶の水女子大
学附屬高校教室
- ※は中国語字幕版

ドキュメンタリー映画「亞生を拓くへ建築家・郭茂林という男」各地で自主上映実施

平成二十七年

ベーシックライフインフォメーション協会

■本協会の構成員

特定非営利活動法人 ベーシックライフインフォメーション協会	理事長	田代 實範
	副理事長	浅田 豊
	理事	岡村 悅子 加藤美智子
	監事	鄧 淑晶
事務局長	郭 純	
	鳥羽 展維	
	林 銀	
	下田長四郎	
	林 秀鶯	
	池ヶ谷 昇	

❖編集後記❖

今年度は二回文化講演会を開いた。多くの熱心な参加者のご協力で盛会であつたことにお礼申し上げます。
有志のご寄付で事業展開や会報の発行を助けていただきました。ご支援に感謝します。本会の活動案内や報告はホームページをご覧ください。会名で検索願います。
会員を募集しています。協会にお申込みください。

特定非営利活動法人
ベーシックライフインフォメーション協会
会報第9号

発行人 田代 實範
電話 ○三一三九九六一〇一七七
発行所 東京都練馬区石神井町
六一十二一三